

平成24年行政事業レビューシート

(国土交通省)

<b>事業名</b>	世界遺産に対応した歴史的風土保存計画の見直し検討調査		<b>担当部局庁</b>	都市局		<b>作成責任者</b>	
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成24年度/平成25年度(予定)		<b>担当課室</b>	公園緑地・景観課 景観・歴史文化環境整備室		課長 舟引 敏明	
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	7 良好で緑豊かな都市空間の形成、歴史的風土の再生等を推進する			
<b>根拠法令(具体的な条項も記載)</b>	-		<b>関係する計画、通知等</b>	古都における歴史的風土の保存に関する特別措置法(古都保存法)、歴史的風土保存計画			
<b>事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	世界遺産に相応しいきめ細かい維持管理の方向性を含め、古都保存法に基づいた鎌倉の歴史的風土保存計画を示すことにより、鎌倉の世界文化遺産登録を支援するとともに、鎌倉以外の歴史的風土保存計画についても見直しを行うことにより、国際的な観光地となっている各古都の魅力向上を図る。						
<b>事業概要(5行程度以内。別添可)</b>	現行の歴史的風土保存計画は、当初古都指定時に策定されて以降、内容の見直しがなされておらず、また、世界遺産登録されている京都、奈良、斑鳩や世界遺産登録推薦をしている鎌倉については今後の維持管理において世界遺産に相応しい管理を行っていく必要があるため、国土交通省が歴史的風土保存計画変更案を作成し社会資本整備審議会の意見を聴取する等、古都保存法に基づいた手続きを行うにあたって必要となる調査を実施する。						
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
<b>予算額・執行額(単位:百万円)</b>	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		当初予算			10	10	
		繰越し等					
		計			10	10	
	執行額						
	執行率(%)						
<b>成果目標及び成果実績(アウトカム)</b>	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(27年度)
	京都市、奈良市、鎌倉市の合計入込観光客数		成果実績 千人	78,511	85,796	集計中	90,000
			達成度 %	87.2%	95.3%	-	
<b>活動指標及び活動実績(アウトプット)</b>	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	見直し対象とする歴史的風土保存計画の数		活動実績(当初見込み)		( )	( )	( 7 )
<b>単位当たりコスト</b>	1.4百万円(実施見込額/見直し対象数)		算出根拠	国土交通省が古都保存法に基づき社会資本整備審議会の意見聴取等必要な手続きを行うにあたって歴史的風土保存計画変更案を作成するための調査に必要な経費(10百万円)を、平成24年度見直し対象とする歴史的風土保存計画(7計画)で除したもの			
平成24・25年度予算内訳	<b>費目</b>	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	緑地環境対策調査費	10	10				
	計	10	10				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	本調査は、世界遺産に相応しい歴史的風土保存計画変更案を示し、鎌倉の世界遺産登録を支援するとともに、国際的な観光地となっている各古都の魅力向上を図るものであり、優先度が高い調査である。歴史的風土保存計画の変更は、古都保存法に基づき国土交通省が社会資本整備審議会の意見聴取等の手続きを踏まえ行うものであり、そのために必要な調査は国が実施すべきものである。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本調査は、世界遺産に相応しい歴史的風土保存計画変更案を示し、鎌倉の世界遺産登録を支援するとともに、国際的な観光地となっている各古都の魅力向上を図るものであり、優先度が高い調査である。歴史的風土保存計画の変更は、古都保存法に基づき国土交通省が社会資本整備審議会の意見聴取等の手続きを踏まえ行うものであり、そのために必要な調査は国が実施すべきものである。発注先の選定にあたっては、企画競争による手続において、企画提案書の評価にあたり匿名評価方式で書類評価を行うとともに、提案の特定にあたり外部の学識経験者からなる企画競争有識者委員会による審査を行う等、より透明性・公平性の確保を図る予定である。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係地方公共団体との役割分担、他省庁との役割分担を精査の上、調査内容を重点化すべきである。</li> <li>・平成25年に予定されている世界遺産登録の可否が議論される段階に間に合うよう、確実に成果が得られるよう適切に執行すべきである。</li> <li>・執行方法については、企画競争が予定されており適切であるが、可能な限り透明性・競争性の高い方法で行うべきである。</li> </ul>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
		<p>関係地方公共団体や他省庁との役割分担を精査の上、古都保存法に基づき国土交通省が行うものとされている歴史的風土保存計画の見直しを行う。事業実施にあたっては、鎌倉の世界遺産登録の可否の決定時期を踏まえつつ、確実に成果が得られるように適切に執行する。</p> <p>また、発注先の選定にあたっては、透明性・公平性の確保を図るため、企画競争による手続において、匿名評価方式による書類評価、外部の学識経験者からなる企画競争有識者委員会による審査を行う。</p>	
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	新24-2017